

令和 8 年度シラバス（理科）

学番 29

新潟県立村上桜ヶ丘高等学校

教科（科目）	理科（生物基礎）	単位数	2 単位	学年	1 年次
使用教科書	実教出版 生物基礎				
副教材等	数研出版 改訂版リードLightノート 生物基礎				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	①コミュニケーション能力と自分で課題を発見し解決する能力を育成します。 ②各系列において必要な、基礎・基本の学力の習得を目指し、将来の進路実現に繋げる生徒の育成を目指します。 ③個性を生かし、各系列で創意工夫や発想力を活かし、豊かな感性で新しいものを生み出せる生徒を育成します。 ④社会の発展に貢献しようとする大きな志を持って、主体的に地域の生活を創造できる能力を持つ生徒を育成します。 ⑤自己を管理する力を持ち、他者への思いやりや、協働ができ、市民としての社会的責任を自覚する勤勉な態度の生徒を育成します。
カリキュラムポリシー	①地域社会と積極的に連携し、協働する力や社会に役立とうとする意識を育成します。 ②「系列」に応じた様々な選択科目を設置し、生徒一人一人が主体的に興味・関心を広げ、力を伸ばす多様な選択を可能にします。 ③各系列での基礎学力の向上を目指し、卒業までに高い専門性を身に付けさせます。 ④各学年における探究的な学習活動や体験学習、教科横断的な学習により、深い学びを実践していきます。 ⑤各系列の多様な価値観や個性を持つ生徒との協働的な学びのフィールドを展開することで、他者を受容し開かれた自己を確立し、人間関係を築く力を育てます。

2 学習目標

生物や生物現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、生物や生物現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 (3) 生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

3 指導の重点

総合学科であることから ①生物学に対する興味・関心を高める ②生物学に対する知識・法則を深める ③生物学に対する探求心を育てる。
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
生物や生物現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事物・現象の中に問題を見いだし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けようとしている。

5 評価方法

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
定期考査（中間考査・期末考査）・授業への取り組み方・提出物・出席状	定期考査（中間考査・期末考査）・授業への取り組み方・提出物・論述問	定期考査（中間考査・期末考査）・授業への取り組み方・提出物

況等を考慮し、観点別に評価し、総合的に判断する。	題への取り組みやその表現方法、出席状況等を考慮し、観点別に評価し、総合的に判断する。	・実験実習への参加状況、出席状況等を考慮し、観点別に評価し、総合的に判断する。
--------------------------	--	---

6 指導計画

月	単元名	主要学習領域	学習活動（指導内容）	時間	評価方法
4 5	第1章 生物の特徴	1. 生物の共通性と多様性 2. 細胞とエネルギー	1. 生物の共通である細胞の構造や、進化における多様性について理解します。 2. 生命活動に必要なエネルギーを物質に出し入れするために光合成と呼吸があることを理解します。（実験）	第1回 検査までに 10h	授業中の興味・関心・意欲・態度、提出物、検査から総合的に判断する。
6 7	第2章 遺伝子とその働き	1. 遺伝情報とDNA 2. 遺伝情報の分配 3. 遺伝情報とタンパク質の合成	1. DNA発見の歴史と、その構造を明らかにします。 2. 親から子にDNAを伝えるための手順を理解します。 3. DNAのもつ遺伝情報からどのようにタンパク質を読み取るのかを理解します。（実験）	第2回 検査までに 12h	授業中の興味・関心・意欲・態度、提出物、検査から総合的に判断する。
9 10 11 12	第3章 生殖の体内環境とその維持	1. 体内環境 2. 体内環境の維持のしくみ 3. 免疫	1. 血液の組成、循環系、腎臓、肝臓の役割を解説します。（実験） 2. 自律神経、ホルモンによる血糖量、体温、塩分調節のしくみを解説します。 3. 外部からの異物侵入に対する防御方法を解説します。	第3回 検査までに 12h 第4回 検査までに 16h	授業中の興味・関心・意欲・態度、提出物、検査から総合的に判断する。
1 2	第4章 生物の多様性と生態系	1. 植生と遷移 2. 気候とバイオーム 3. 生態系と物質循環 4. 生態系のバランスと保全	1. 荒原、草原、森林と植物が移り変わる過程を解説します。 2. 世界、日本における植生を分類し、気候との関連を解説します。 3. 生物と環境との関連について解説します。 4. 人間社会が及ぼす環境問題について、考察します。	第5回 検査までに 20h	授業中の興味・関心・意欲・態度、提出物、検査から総合的に判断する。

計 70 時間（50 分授業）

7 課題提出物等

・観察や実験にはレポートの提出を求めます。 ・単元によっては小テストを実施します。 ・その他、必要に応じてレポート提出を求めます。

8 担当者からの一言

生物に関する基本的なことを日常生活と関連づけて学習します。常に主体的に考える姿勢を持ち、知識を元に考え・判断し表現できるようにしましょう。
